



吉沢章子通信


2015/春季号 ecoako
一級建築士・二児の母

川崎市議会議員 自由民主党
http://yoshizawa-akiko.jp

多摩区選出

地方から国を変える。チェンジメーカーの下士議員として。

災害に強く環境にやさしい街づくりのために。「環境共生都市」を提案し実現に向け現在進行中。



皆さまこんにちは。吉沢章子です。2015年を迎え、皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、私は毎年「今年の漢字」を心に期す事しておりますが、2015年の漢字は、「徳」に致しました。昨年暮れ、衆議院議員選挙における自民党圧勝の後、尊敬するジャーナリスト氏と話す機会を得ましたが、氏いわく「政治を強権や圧力など、ある意味での恐怖で治めては、人心は離れる。政は徳で治めてこそ。」と。正にと、私は得心致しました。常々私は「驕れる者は久しからず」と思っています。この度の選挙で自民党が勝たせて頂いたのも決して積極的選択ではありません。自民党は勘違いせず、より謙虚に市民国民皆さまの声に耳を傾けなければならないと、あらゆる機会を通じて発言していたところでした。


「徳をもって政を治める」には、常に市民の現場に在って「虫の目」で俯瞰し、同時に天下国家・世界を俯瞰する「鳥の目」で政策を創造する智力と、それを実行する胆力、そして人から慕われる人徳を養って、初めて為すことができると考えます。

その道は「狭き門より入る」正道であります。私は12年前、最も困難とされる政治の道を貫くと覚悟を決めました。「どう生きるか？」と問われれば、私は今までもそしてこれからも、学びつつ正道を歩んで参りたいと存じます。統一地方選挙が執行される本年も、吉沢章子は「徳」を胸に刻み、ブレずに精進して参ります。さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

活動報告 現場主義!

1. 児童虐待を受けた当事者の若者達とディスカッション!

児童虐待防止条例を議員提案で上程しましたが、私はその後も検証・勉強を続けています。この度は虐待を受けるなどの厳しい環境により里親さんや児童施設で育ったアメリカと日本の若者たちと話す機会を頂きました。次の悲劇を生まないために、彼らは自らの体験を隠せず語り、当事者による政策提案を行政に働きかけています。私は心から感動し、私の出来得る協力を惜しまないと約束しました。彼らの属する団体は「IFCA」といいます。写真はアメリカ在住・IFCA代表:栗津美穂氏(奇しくも生田中学の先輩です!)




IFCA代表:栗津美穂氏

※IFCAとは
1.日本とアメリカの社会的養護の当事者たちとの交流と協働を実現する。 2.真に「子ども中心」の児童福祉と虐待防止の方法を追究、実践するために、また、虐待を受けた子どもの日々のケアにあたる人たちが最良の支援を受けるために、日米の専門職が連携する。事を目的としたNPOです。

2. 多摩区三田第2公園 フェンス工事完了!

小さな子ども達が遊び、保育園児も利用する三田第2公園・通称「まむし公園」は敷地内に高低差があるため急傾斜地を擁しています。万が一、ボールを追うなどして子どもが転げ落ちたりしたら!相当危険であると近隣の方からご指摘を頂き、即、対応させて頂きました。




3. 被災地から学ぶ。5度目の福島県相馬市訪問。

活動報告3

今回は自民党神奈川県連・女性局の皆さまをご案内して、

1. 仮設住宅に伺い直接避難住民の方々のお話を伺う。
2. 2016年マニフェスト大賞首長部門大賞を受賞された立谷相馬市長の講演を伺う。
3. 除染作業中の全村避難されている飯館村、相馬市復興住宅など被災地のリアルな現場を視察。
4. 少しでも現地でお金を使う。

等の目的で総勢40余名で伺いました。現場からでなければ学ばれません。巨大災害のリスクが高まる中、減災と有事の対応につてリアルに学ぶ事ができ、継続した被災地支援とも両立する被災地への視察は、これからも続けて参ります。




仮設住宅にて

4. 民家園通り商店街「環境局・スマートライフスタイル大賞・奨励賞」受賞!

活動報告4

民家園通り商店街の顧問を務める吉沢章子は、ゴミ減量と商店街の社会的貢献のため、平成20年に川崎市の商店街では初の取組である「リユースコップ」を夏祭りに使う事を提案しました。以来吉沢章子後援会では毎年ボランティアでリユースコップの返却ブースに協力して参りました。この度、さらにエコの取組を進める民家園通り商店街が「スマートライフスタイル大賞・奨励賞(地域共生推進賞)」を受賞したことは我が事のように喜びに堪えません!これからも多摩区の商店街が元気になるよう共に取り組んで参ります!




民家園通り商店街会長、副会長と

5. 政策重視の議会へ! 熱い熱いパネルディスカッション!

活動報告5

「議会の時代を切り開く」～神奈川の議会が日本の地方制度を変える～ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 神奈川勉強会にて、議員提案条例「川崎市子どもを虐待から守る条例」のパネラーとして参加。早稲田大学教授・北川正恭先生もやっぱり熱い!



活動報告6




五反田神社祭礼・女神輿の方々と
「宮前メロン」川崎の都市農業視察
区長杯5連覇!ママサッカーチーム・ダイナマイトママ
三原じゅんこ×吉沢章子パネルディスカッション「女性の活躍とアベノミクス」

吉沢章子の議会質問が新聞に掲載されました!

平成26年6月24日東京新聞 →市長「不適切な発言」都議会セクハラ野次、市議会でも議論。自民党・吉沢氏「女性の活躍に障壁」
平成26年6月24日神奈川新聞 →自民党の女性市議、吉沢氏は「本質的な問題」、福田市長「非常に残念」
平成26年6月24日東京新聞 →崖崩れ対策拡充へ。市、制度改革を検討。
平成26年9月10日神奈川新聞 →公約も行革の対象。市長「全て実現」と軌道修正(代表質問・吉沢原稿担当)
平成26年9月19日神奈川新聞 →出資法人改革。共同出資会社「川崎住宅」から出資引き上げすべきと吉沢氏指摘。
平成26年10月4日神奈川新聞 →市政90周年記念ミニ公募債発行について(代表質問・吉沢原稿担当)

吉沢章子がテレビに出演しました!

テレビ朝日「爆笑問題の言いにくい事をハッキリ言うTV」平成26年8月4日(月)24時15分～放送「女性議員にハッキリ言わせるスペシャル」共演の博多大吉さんより「赤鬼」と命名されました(笑)



議会報告 1

平成26年 6月23日 第2回定例会・一般質問

1. かけ崩れ対策について

多摩区東生田2丁目では6月7日未明に発生した**かけ崩れ**。吉沢章子はいち早く現場に駆け付け現状を把握し、その後ソフト・ハード両面から検証して質問に立ちました。吉沢章子の**新たな補助制度の提案**により、市は**制度改革へと大きく舵を切る事**となりました。



東生田2丁目の**かけ崩れ**は、**初動から現場の応急復旧工事まで「減災の機能」が働いた**事案と考える。検証すると、

- 1. 事前からの**危険個所の把握** → 2. パトロール職員の**いち早い異常の発見** →
- 3. 住民への**早期の避難勧告** → 4. **飯室町会の協力**による町内会館への避難 →
- 5. **川崎建設業協会・多摩特設作業隊による応急復旧工事**

行政、町会、地元建設業協会など、関連する方々が**普段から「備え」**、さらに有事における**情報共有・連携が上手く機能**した結果、けが人もなく、事なきを得た**好事例**。このような取り組みを広く周知すると共に、**減災へのさらなる環境整備が必要**。

常態化する「ゲリラ豪雨」によって崖崩れの危険性は増している。民有地崖崩れ対策における**新たな補助制度**を検討すべきだが見解は？

→ **まちづくり局** 平成21年度より宅地防災工事助成金制度はあるが、さらなる災害防止対策の推進を目指し、**より有効な制度改善や災害防止に向けた施策の在り方**を検討する。

👍 他に地元事業者育成について、**入札制度における災害協力のインセンティブ**等をさらに要望。建設緑政局長より**取り組みを進める答弁**を得る。

2. 少子化対策と女性の活躍について

平成25年6月議会でとりあげた「**卵子の老化による妊娠適齢期**」「**ウーマノミクスによる成長戦略**」等についての質問を継続し、進捗を質しました。その質問に先立ち、「**セクハラ野次**」について一言述べ、市長の見解を問いました。

政府は大々的に「**輝く女性の活躍加速**」を謳っているが、**現実はまだ理想とははるかに遠いと実感**を込めて感じている。折からの東京都議会における「**セクハラ野次**」は、**本質的な問題**。あのような**発言や発言の周りに在る空気感こそが女性の活躍を阻む要因**と強く感じている。女性のみならず、**普通の真っ当な男性も嫌悪感**を持っていると思う。質問にあたり市長の率直な見解を伺いたい。

→ **市長** 都議会のまことに不適切で不規則な発言を聞いて非常に残念に思う。吉沢議員の発言のように、ああいふ空気感が生まれている社会について、**大多数はおかしいと思っている中に在って、一部そういうところが残っているのは非常に残念**。

卵子の老化を医学的見地から啓発すべきと提案してきた。および**保健体育の一環として、教育的見地からの取り組みも提案**したが、進捗は？

→ **こども本部長** 平成26年1月に**妊娠の適齢期に関する啓発リーフレット**を作成し「**成人の日を祝うつどい**」の**会場で配布**した。今後も若い世代に対し普及啓発活動を行ってゆく。

→ **教育長** 昨年度、**市立中学校延べ40校において、各区保険福祉センターと連携して講演会を実施**。妊娠適齢期や命、性に関する学習を実施した。

👍 好評を得ている講習会を**全52校で実施**することを要望。

議会報告 2

平成26年9月25日 決算審査特別委員会・分科会

議会改革の一環として、平成26年度から決算審査特別委員会は「**分科会方式**」となり、所属の常任委員会においてより深く決算を審査することとなりました。

吉沢章子は所属の**総務委員会**にて、

- 1. **出資法人改革**について 2. **市債**について 3. **資産マネジメント**について 4. **スマートシティ戦略**について
- それぞれ質し、**提案を致しました**。

1・出資法人改革について

出資率25パーセン未満の法人45団体の内、株式会社は12社。その中で**昭和14年から共同出資**している「**川崎住宅**」には**現在約5000万円出資**している。現在の川崎住宅の経営内容は当初とは違いもはや民間不動産業と同じ。市が出資する合理的な理由が見当たらない。

資本を引き揚げるべきだが見解は？

→ **財政局長** 現在は特段の行政目的がなく**経営に積極的に参加する必要性は薄れていると認識**。資本の引き上げについて検討していく。

株の配当金は年々上がっている。非公開株なので手続きが必要だが、市が保有する株は簿価で推定500円×47万株＝2億円強。時価にすると**相当な値になるとも仄聞**する。売却益は大きな財源。川崎住宅については再考を求める。また、25パーセント以下の出資法人は**国・県が関与するものも多いが、これこそ正に「天下りほう助」**。見直しを検討し、市長からも意見を国・県へ上げるべきと指摘。

👍 他に、市債については、**住民参加型のミニ公募債を復活して、市民に判りやすい資金調達をすべき**と指摘、**市政90周年ミニ公募債を実施**との答弁を得る。

議会報告 3

平成26年12月18日 議会質問

1. 「高校生課」若者の行政参加について

吉沢章子と市内高校生の**コラボレーション提案**として「**高校生課**」を市長に提案！**高校生が課題解決の一端を担う**流山市の取り組みを知った。そこに主体的に参加していたのが**本市の高校生・生田中学の後輩である柴田梓君**。今回の提案は**柴田君と吉沢のコラボレーション提案**である。



行政課題の解決には、**次元の違う思考を持つ若年層の知恵を借りるべき**であると考え。また、**若者が当事者として主体的に社会と関わり、自尊心を醸成**することは本市が新たに教育プランとして掲げる「**自主・自立**」を具現化する取り組みでもある。「**高校生課**」など、**若者の行政参加についての新たな取り組みを提案**するが、市長の見解を伺う。

→ **市長** 現役の高校生から提案を頂いた。具体的には川崎市の課題を**中高生がIT**を使って課題解決するイベントを提案するというもので、現在スポンサーの発掘など検討を進めている。**高校生などの若者が市政に関心を持ち、様々な課題を発見し、その解決方法も自らが考えることは大変素晴らしいこと**であると思う。今回の提案を**市政に反映するため、高校生が主体的に参加できる行政運営**について、吉沢議員からもご提案を頂きながら検討してゆきたい。

👍 **教育長に要望** 「**自主・自立**」を目的とした新しいかわさき教育プラン。市民へのパブリックコメントや保護者からの意見のみならず、**主体である子どもたちからの意見を聞くべき**であると強く要望。

2. 期日前投票等について

年々ニーズが高まる**期日前投票**について、ライフスタイルの多様化や世代によって投票環境は異なるが、現状でも実現可能性が高いと思われる、**時間延長を提案**するが見解は？

→ **選挙管理委員会事務局** 選挙ごとに期日前投票を利用する方が増えている。**朝早めに出勤するもしくは夜遅く帰宅する方などが投票を行えるようになれば投票環境の向上につながる**と考える。「総務省における投票環境の向上方策等に関する研究会」において**投票時間の弾力化を検討中**。本市からも小島選管アドバイザーが委員として出席しており動向を注視したい。

👍 他に、**県知事のみ**の**期日前投票期間**について、統一地方選挙において県知事選挙は選挙期間が長い為、市議・県議に投票できない期日前投票期間が生じる。**ほとんど投票する人がいないにも関わらずに1000万円以上の経費が掛かっている**ことを指摘。改善策を要望。

投票率の低下は民主主義の危機。一方希望は、**若者**。憲法改正により平成28年執行予定の参議院議員選挙は18歳からの参政権の可能性が高まっている。

今回の衆議院選挙に向け、**日本の学生が民主化運動のさなかの香港に赴き、香港の若者が日本の若者に投票をよびかける動画を作成**した。「私にとって民主主義とは自由そのものである。」等々。

彼らのリアルは生きた教材。現実から民主主義を学び、**本市の子どもや若者が、主体的に政治・行政・社会に参加する取り組みを教育委員会はもとより、市全体として今こそ進めていくことを強く要望**。

吉沢章子プロフィール

- 昭和39年3月14日多摩区生まれ、魚座、O型、■川崎市立生田中学校・神奈川県立百合丘高等学校・東京YMC Aデザイン研究所建築科 卒業 ■職歴菊竹清訓建築設計事務所勤務 吉沢章子建築設計事務所主宰
- 平成15年4月川崎市市民党初の女性市議会議員として初当選 ■平成23年4月川崎市議会議員3期目当選
- 資格一級建築士、宅建建物取引主任者、サッカー4級審判員
- 趣味サッカー(ママサッカーチームダイナマイトママキャプテン) 絵を画く 詩を描く 歌を詠む

吉沢章子事務所

214-0014
神奈川県川崎市多摩区登戸1768 吉澤ビル101
TEL 044-933-8018 FAX 044-933-8032
<http://yoshizawa-akiko.jp>